

第7回 日本歯科衛生教育学会総会・学術大会開催のご案内

大会長 遠藤 圭子
副大会長 近藤 圭子
実行委員長 小原 由紀

今夏は、リオオリンピックでの選手の活躍に大いに盛り上がった一方で、4つの台風が上陸し、各地に大きな被害をもたらしたとのニュースには、自然の営みとはいえ、心痛みました。被害にあわれた皆さまには謹んでお見舞い申し上げます。

平成28年12月10日（土）・11日（日）の2日間、第7回日本歯科衛生教育学会総会・学術大会を、東京医科歯科大学にて開催いたします。演題は口演発表7題、ポスター発表26題、企業展示の協力社数も多く、感謝の念に堪えません。

今回はメインテーマを「歯科衛生学の未来に向けて—チームアプローチ力を育む学び—」としました。

人びとの歯科衛生ニーズに応えるためには、その専門性を充実して、歯科医師と連携を図って協働することが必要です。さらに、他分野の方々とも協力する必要がある、多職種との協働を実現できる人材の養成が喫緊の課題となっています。つまり、歯科衛生士養成教育の課題は、社会ニーズに応える人材をどのように養成するか、主眼は何かを見極めることであり、チームの中での位置づけや活動の内容、場による違いなどをも考慮したカリキュラムを構築していくことです。

そこで、特別講演は「本物のプロフェッショナルを育成する専門職連携教育（IPE）」として、「自律した医療組織人」養成を目指して精力的にIPE（Interprofessional Education）を実践されている千葉大学の朝比奈真由美先生にお願いしました。

教育講演では、日々の生活に欠かせない食べる機能を見直し、教育にどのように活かすかを考えたいと思います。まず、東京医科歯科大学大学院地域・福祉口腔保健衛生学分野教授 古屋純一先生から「『食べる楽しみ』を支援する」ことについて、臨床の立場からお話しいたします。次に東京医科歯科大学名誉教授 杉本久美子先生には「食べる機能を支えるしくみ」について、お話しいたします。

さらに、チームアプローチを推進するために必要なこと、教育上の課題を見極めるために、専門学校中央医療健康大学校歯科衛生学科 増田美恵子先生をコーディネーターとして「多職種連携教育推進のために」と題するシンポジウムを企画しました。シンポジストは東京医科歯科大学医学部附属病院副院長・看護部長 川崎つま子先生、広島大学病院において言語聴覚士として活躍している安原幸美先生、居宅や施設を訪問して活動する歯科衛生士 篠原弓月先生、それぞれの立場から教育に活かす提言をお願いしました。多職種連携を考え、歯科衛生分野からのアプローチが実践できる人材を養成するために、皆さまと議論を深めたいと思います。

本学は、1928年に学問と教育の聖地である湯島・昌平坂に、官立歯科医学教育機関として設置されました。1951年には歯科衛生士養成開始、2004年に4年制大学としてスタート。今では医学と歯学の融合教育の中にあり、人びとの健康と福祉に貢献できる人材養成に力を注いでいるところです。歯学部附属病院ロビーにはポスターに使った浮世絵、貝塚の石碑、湯島聖堂はじめ、神田川を挟んだ御茶ノ水駅周辺にも歴史を感じられる場所があります。2日間とはいえ、仲間との情報交換と共に、湯島の地を堪能していただければと思います。

多くの皆さまのご参加をいただきますようお願い申し上げます。

1. 会 期：平成 28 年 12 月 10 日（土）、11 日（日）
2. 大会テーマ：歯科衛生学の未来に向けて—チームアプローチ力を育む学び—
3. 会 場：東京医科歯科大学
〒113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45

4. プログラム：

- 1) **教育講演Ⅰ 12月10日（土） 9：40～10：40**
「『食べる楽しみ』を支援する」
古屋 純一（東京医科歯科大学医歯学総合研究科 地域・福祉口腔保健衛生学分野 教授）
座長：高阪 利美
教育講演Ⅱ 12月10日（土） 10：50～11：50
「食べる機能を支えるしくみ」
杉本久美子（東京医科歯科大学 名誉教授）
座長：眞木 吉信
- 2) **特別講演 12月11日（日） 11：00～12：00**
「本物のプロフェッショナルを育成する専門職連携教育（IPE）」
朝比奈真由美（千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター 准教授）
座長：遠藤 圭子

——— 全国歯科衛生士教育協議会からのお知らせ ———

教育講演Ⅰ・Ⅱは全衛協の講習会Ⅵとして読み替え、認定更新のための必修単位にカウントされます。申し込まれた方は講習会Ⅵ受付（当日ご案内します）にてお名前を申し出てください。それぞれの講演時に、受付にて受講終了の印を学会参加証に押印を受けてください。2つの押印がされていれば受講済とし、講習会修了証をお渡しいたします。2つの押印がない場合は修了証の発行はできません。講習会のみ参加者には講習会用参加証をお送りします。

- 3) **シンポジウム 12月10日（土） 13：50～15：20**
「多職種連携教育推進のために」
コーディネーター 増田美恵子（専門学校中央医療健康大学校 歯科衛生学科）
看護師の立場から 川崎つま子（東京医科歯科大学 医学部附属病院 副病院長・看護部長）
言語聴覚士の立場から 安原 幸美（広島大学病院 言語聴覚士）
歯科衛生士の立場から 篠原 弓月（地域食支援グループ ハッピーリーブス 歯科衛生士）
- 4) 一般発表：口演発表、ポスター発表
- 5) ランチョンセミナー
12月10日（土） 12：15～13：05 （株）ニッシン【定員 98名】
「多職種連携（IPW）を行うためのプロフェッショナルリズムを考えよう」
木尾 哲朗（九州歯科大学 歯学部歯学科 口腔機能学講座総合診療学分野教授）
12月11日（日） 12：20～13：10 （株）進研アド【定員 98名】
「新入生の実態と学びの意欲を高める指導」
深掘 雅樹（（株）進研アド 専門学校営業部長）

- 6) 委員会セッション 12月10日(土) 15:30～16:30
 I. 教育問題検討委員会 1号館西7階 第3講義室
 「歯科衛生士教員としてのキャリアデザイン—5年後にどのような教員でありたいか—」
 II. 学術・企画委員会 1号館西7階 第2講義室
 「歯科衛生過程の授業設計—教育での取り組みから効果的な指導法を考える—」
- 7) 懇親会 12月10日(土) 17:00～18:30
 M&Dタワー26階 ファカルティラウンジ
5. 会議等：下記会議を行う予定です。
 12月9日(金)
 15:00～17:00 常任理事会・理事会(合同開催) 歯学部特別講堂(歯科棟南4階)
 17:00～18:00 評議員会 歯学部特別講堂(歯科棟南4階)
6. 参加登録：会員 当日登録6,000円, 非会員10,000円
- 1) 事前登録は締め切りました。
 事前登録をされた方は、受付にて参加証とホルダーをお渡しします。
 - 2) 学生の参加登録は当日のみです。受付で学生証を提示し、参加費1,000円をお支払いください。
 なお、学生証がない場合は一般会員扱いになりますので、ご注意ください。
 - 3) 会場内では、参加証をつけてください。
7. 大会当日、本誌は必ずご持参ください。お忘れの場合は実費(3,000円)で頒布になります。
8. クロークについて
 クロークは鈴木章夫記念講堂入口(2階)に用意いたします。
9. 会場での呼び出し・撮影等について
- ・原則として、会場での呼び出しは行いません。
 - ・会場では携帯電話等の電源はお切りいただくか、マナーモードにしてください。
 - ・会場内での撮影は、撮影担当者以外は、原則禁止です。
10. 駐車場(有料)には限りがあります。できる限り、公共交通機関のご利用をお願いします。
11. 宿泊につきましてはご案内いたしません。各自でご準備願います。
12. 両日とも弁当の販売は予定しておりません。

～ランチョンセミナー 整理券配布～

- ・ランチョンセミナー参加希望の方は、ランチョンセミナー受付にてお受け取りください。
- ・お一人1日につき1枚とさせていただきます。
- ・整理券がなくなり次第、配布終了となります。
- ・配布日時：12月10日(土)(株)ニッシン 8:45～
 12月11日(日)(株)進研アド 9:00～
- ・配布場所：鈴木章夫記念講堂前 ホワイエ

お問合せ：日本歯科衛生教育学会 事務所

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル
 (一財)口腔保健協会内 TEL 03-3947-8891